

令和7年度「総合的な探究の時間」の全体計画

1 「総合的な探究の時間」の校内での名称（実施学年ごとに記入する）

- 1年「総合的な探究の時間」
- 2年「総合的な探究の時間」
- 3年「総合的な探究の時間」

2 学校の教育目標

- 人格の完成を目指し、優れた社会人としての資質を形成する。
- (1) 豊かな人間性の育成
秩序ある学校生活を送ることを通し、思いやりの心と規範意識を培い、徳性を育てる。
 - (2) 次代を担う力の育成
目標達成への努力を通して、探究心を涵養し、創造性を高め、自ら学び自ら考える力を育成する。
 - (3) 社会に貢献する精神の育成
奉仕体験活動や部活動での交流を通して、地域の信頼を築き、自主的に社会貢献する精神を培う。

3 各学校において定める「総合的な探究の時間」の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して未知の境遇においても主体的に課題を発見し、創造的、協働的に解決していく力（これからの社会をより良く生き抜く力）を育成することを目指すとともに、人・社会・自然とかかわりながら自己の在り方や生き方を考え、学ぶことの厳しさと楽しさを体験させることを目標とする。

4 生徒・学校・地域の実態

本校は江東地区・墨田区向島に立地し、市街地と比較的に親密な近隣関係の環境下にある。在籍生徒の大半は同地域に居住し、入学時の成績は中程度以上である。本校は基本的な指導として「基本的生活習慣の確立」と「社会への貢献」を掲げ、頭髮指導・遅刻防止指導・服装規範といった生活指導を徹底し、また、生徒の社会参加を積極的に推進し地域・外部機関との連携と協調を深めている。その結果、「規律ある落ち着いた学校」「地域に帰属する学校」として保護者や地域の支持を得ている。また、上級学校（大学）への進学意識が高い生徒が年々多く入学してきている。なお、同地域住民は防災への意識が強く、関連機関と提携した防災教育にも力を注ぐことができる環境にある。

5 指導体制（実施学年ごとに記入する）

- 1 学年
- (1) 週時程への位置付け方
水曜日の5校時に実施。
授業時数は年間35時間、単位数は1単位とする。
 - (2) 授業時間確保の方法
奉仕活動と社会体験活動を週休日、夏季休業中に集中して実施する。
社会体験においては、区内中学校・保育園、すみだ保健福祉センター所等と連携して実施する。
 - (3) 校内の指導組織、担当する教諭の人数
担当分掌（進路・探究部）が計画立案・実施の管理を行う。
担任6名及び副担任6名、計12名が年間を通して原則毎時間担当する。
 - (4) 学習の評価
活動の記録をまとめたポートフォリオ、課題に取り組む姿勢（ワークシート）、生徒自身による活動の振り返り等を評価方法として用いる。相互評価を行う場合はループリックに基づく評価を行う。

2 学年

(1) 週時程への位置付け方

水曜日の6校時に実施。

授業時数は年間35時間、単位数は1単位とする。

(2) 授業時間確保の方法

特定の期間に集中して実施する予定は無い。

(3) 校内の指導組織、担当する教諭の人数

担当分掌（進路・探究部）が計画立案・実施の管理を行う。

担任6名及び副担任6名、計12名が年間を通して原則毎時間担当する。

(4) 学習の評価

活動の記録をまとめたポートフォリオ、課題に取り組む姿勢（ワークシート）、生徒自身による活動の振り返り等を評価方法として用いる。相互評価を行う場合はループリックに基づく評価を行う。

3 学年

(1) 週時程への位置付け方

水曜日の6校時に実施。

授業時数は年間35時間、単位数は1単位とする。

(2) 授業時間確保の方法

特定の期間に集中して実施する予定は無い。

(3) 校内の指導組織、担当する教諭の人数

担当分掌（進路・探究部）が計画立案・実施の管理を行う。

担任7名が年間を通して原則毎時間担当する。

(4) 学習の評価

活動の記録をまとめたポートフォリオ、課題に取り組む姿勢（ワークシート）、生徒自身による活動の振り返り等を評価方法として用いる。相互評価を行う場合はループリックに基づく評価を行う。

6 育てようとする資質や能力及び態度

本校の探究学習では、より良く社会を生き抜く力を育成するために9つの身に付けるべき資質・能力を位置づけている。以下に示す9つの資質・能力を、探究および体験活動の過程における課題設定・情報収集・分析・課題の再設定のサイクルを回すことや社会に貢献する機会を通して涵養する。

< 9つの資質・能力 >

・思考力 ・表現力 ・発信力 ・創造力 ・マネジメント力 ・協働力 ・情報収集・活用力
・自らを変える力 ・やり抜く力 ・市民性

7 内容（学習対象、学習事項）（実施学年ごとに記入する）

学年	項目	内容
1 学年	・探究学習の進め方を学ぶ	・問いの立て方や考え方について習得する。。
	・探究サイクルを学ぶ	・与えられたテーマ（SDG s 課題）を探究し、発表する。
	・テーマ別講座	・大学教授等の講義を受け、専門的な知識を得たり、視野を広げたりすることで、今後の探究テーマ決定にいかす。
	・探究テーマを考える	・テーマ別講座をふまえ、今後探究していきたいテーマについて、教員またはTA とともに考える。
	・基礎研究	・教員又はTA の助言を受け、自分のテーマに関する先行研究となる論文をみつける。 ・先行研究から明らかになったこと、未だ明らかになっていない課題について明らかにする。

2 学年	・基礎研究結果（先行研究のまとめ）執筆・加筆・修正	・1年次に調べ、まとめたものを論文形式に文章化する。
	・実践研究計画・準備	・実践研究の手法を学ぶとともに、自分の研究に必要な。（実施可能な）実践研究を考え、その準備をする。
	・実践研究実施	・夏休みを使って、校外での実践研究にあたる。
	・研究結果の考察	・研究結果に対して自分なりの考察を行う
	・1・2年合同中間報告会	・中間報告会での指摘を受け、研究の至らない点を補足し、論文完成を目指す
	・論文執筆（加筆・修正）	担当いただく教員又はTAの助言を受け、論文の加筆・修正を行い、論文を完成させる。
3 学年	・ポスター発表準備	・1, 2年生の前で行うポスター発表会にむけて、スライド資料を完成させる。
	・ポスター発表会	・これまでの探究活動の成果を下級生に発表する。
	・論文要旨作成	・要旨集作成に向けて、論文の要旨をA4 1枚にまとめる。
	・言語力養成学習	・自己PR文、小論文の書き方について学ぶ。
	・進路別探究	・社会人力養成講座（マナー講座、高齢者講習等）に参加する。

8 学習活動

- (1) 授業時間数は年間35時間、単位数は1単位とする。
- (2) 毎週水曜5校時を1学年、6校時を2, 3学年に「総合的な探究の時間」として設定する。
- (3) 1学年の9月までは興味関心の幅を広げる活動をホームルームで行い、10月の分野決定後からは、探究を進めていくための手法を学び、1年冬から2年生にかけて個人探究を行う。
- (4) 探究活動については、中間報告会（成果発表会）等の定期的実施により、自他相互に知的探究力や創造力を高めるとともに、表現力を養成する。また、地域・研究機関等との連携による調査等を通じて、社会を人々と協働する態度と行動力を身に付けさせる。
- (5) 1学年においては週休日、長期休業中に社会奉仕体験活動を実施する。

9 指導方法

- (1) 「総合的な探究の時間」の年間授業計画に従い、学年、各分掌、各教科と連携し、各教科を横断した指導体制を組織的に構築する。
- (2) 時間割に位置付けられた「総合的な探究の時間」に、学年の担任、担任以外の担当教員が指導する。
- (3) 地域や関係機関の協力のもと、フィールドワークなどの校外における学習を充実させる。

10 各教科等との関連

- (1) 「総合的な探究の時間」の年間授業計画に従い、汎用的な認知スキルであるクリティカル・シンキングの視点およびメタ認知的能力の育成を図る。これらのスキルを各教科での学びの中でも共通のスキルとして位置づけることで汎用性を高めていく。
- (2) 各教科においてアクティブ・ラーニングの概念を取り入れた学習を取り入れることで基礎的な学習事項の理解と定着を図る。

11 外部との連携

夏季休業中社会体験においては、区内保育園・すみだ保健福祉センター等と連携
 探究活動においては、社会教育施設・機関 大学等の諸研究機関 墨田区商店街連合会等と連携

令和7年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画

(1 学年：人間と社会)

1 単位時間の時間 (50) 分

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1	4	○ガイダンス	・「探究」とは何か。どのように探究をするのか	振り返り	○ 2
		○探究学習とは	・多面的に物事を捉える視点を学ぶ	ワークシート・振り返り	○ 2
	5	○視野を広げる活動①	・ 8 分野別の新書を 8 分間で回し読む	ワークシート	○ 2
		○視野を広げる活動②	・ 図書室で一つの新書を借りる	振り返り	
	6	○探究を進める手法①		ワークシート	○ 2
		○探究を進める手法②	・ 問いの立て方や考え方の習得	振り返り	
	7	○SDGs 事前学習	・ SDGs について理解する	ワークシート	○ 1
		●SDGs 講演会	・ SDGs の基礎的な考え方の講演	振り返り	● 2
		○探究ガイダンス	・ 夏の課題、探究		○ 1
		○社会体験活動ガイダンス	・ 希望調査、事前学習		○ 1
2	9	○社会体験活動 (ボランティア)	・ 地域の夏祭り支援、ジャズフェスティバル運営支援、小学生相撲大会運営支援等 墨田区総合防災訓練	振り返り (Classi)	● 6
		○探究ガイダンス	・ 分野毎の説明		○ 1
	●8 分野別講演会	・ 分野別の魅力や奥の深さについて	振り返り (Classi)	● 1	
	10	○探究を進める手法①	・ 研究論文の書き方について	振り返り	
		○探究を進める手法②	・ 情報収集の仕方	振り返り	○ 3
	11	○探究を進める手法③	・ 探究活動計画書作成	探究活動計画書	
		●大学出前授業	・ 大学教授を招き、探究テーマの相談を行う。	振り返り	● 2
	12	○探究を深める手立て①	・ 活動計画書をチェックリストに基づき修正	探究ノート	○ 1
	3	1	●個人探究①	・ 研究の進捗状況を報告し外部の方々からアドバイスをもらう	探究ノート
○個人探究②					○ 3
2		●個人探究③	・ 中間報告会準備		● 2
		○個人探究④			
3		○個人探究⑤			
		●合同中間報告会	・ 研究内容を発表する (プレゼンテーション) ・ 1 年間の学びについて自己評価を行う	成果物・振り返り	● 3
配当時間数の合計		○総合探究 (演習) ●人間と社会 (体験)			○ 1 9 ● 1 6

別紙５の２（総合的な探究の時間）

東京都立 本所高等 学校 全日制 課程 普通 科

令和７年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画

（２学年）

１単位時間の時間（５０）分

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
１	４	ガイダンス	・探究を深めていくために必要な考え方	ノート・観察	１
		探究活動①	・分野内進捗報告グループ作成	ノート・観察	１
		探究活動②	・情報の整理・分析について	ノート・観察	１
	５	探究活動③	・インタビューの方法	ノート・観察	１
		探究活動④	・実験・アンケートの方法		１
	６	探究活動⑤	・中間報告会準備	ノート・観察	１
		探究活動⑥	・分野内中間報告会		１
		探究活動⑦	・テーマに基づき探究活動	Classi 振り返り	１
		探究活動⑧			１
	７	探究活動⑨	・計画作成		１
		探究活動⑩	・フィールドワークおよび実験	Classi 振り返り	３
２	９	探究ガイダンス	・論文のまとめ方		１
		探究活動⑪		ノート・観察	１
		探究活動⑫	・整理・分析の方法		１
		探究活動⑬			１
	１０	探究活動⑭	・整理、分析、論文の構成作成	ノート・観察	１
		探究活動⑮			１
	１１	探究活動⑯	・分野内報告会	Classi 振り返り	１
		探究活動⑰	・クラス内報告会		１
		大学出前授業			２
		探究活動⑱		ノート・観察	１
	１２	探究活動⑲			１
		探究活動⑳		要旨	１
３	１	探究活動㉑	・論文提出	ノート・観察	１
		探究活動㉒	・論文再考		１
		探究活動㉓			１
	２	探究活動㉔	・ポスター作成	論文	１
		探究活動㉕		Classi 振り返り	１
	３	探究活動㉖ 中間報告会	・中間報告会（１，２学年合同）		１ ３
配当時間 数の合計					３５

別紙5の2（総合的な探究の時間）

東京都立 本所高等 学校 全日制 課程 普通 科

令和7年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画

（3学年）

1 単位時間の時間（50）分

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1	4	オリエンテーション ポスター発表会	・これまでの探究活動を振り返る	観察	1
	5	言語力養成学習	・自己PR文について学ぶ ・小論文について学ぶ	ワークブック・観察	7
	6		・小論文模試 ・小論文の書き直しをする		
	7	進路別探究 社会人力養成学習	・問いを作る ・面接対策学習	ワークシート ワークシート・観察	2 2
2	9 ～ 10	進路別探究	・個人の進路先毎に項目を決め、将来像について探究を進める。 ・進捗状況を報告し、アドバイスをもらう	論文作成・観察・相互評価・自己評価	6
	11 ～ 12	社会人力養成学習	・高齢者講習 ・普通救命講習 ・マナー講座（着こなし） ・金融講座 ・教養講座（教科を横断した学習）	振り返りシート	9
	1		・探究内容の発表の整理と準備	相互評価・自己評価	2
	～		・探究内容を報告する（プレゼンテーション）	相互評価・自己評価	4
3	3	振り返り学習	・振り返りを行う ・1年間の学びについて自己評価を行う	自己評価 自己評価	1 1
通年		インターンシップ	・幼児教育、看護医療、介護分野への進学、就職を希望する生徒を対象に職業体験学習を行う		4～20
配当時間数の合計					35